

読谷村第3次都市計画マスタープラン



令和3年11月

読谷村

ごあいさつ

ひほうかまんくがにかん
『飛鳳花蔓黄金環』



「読谷村第3次都市計画マスタープラン」がここに完成し、発刊できますことを心から喜ぶものであります。本計画は平成8年度に策定された「読谷村都市計画マスタープラン」、平成19年度に策定された「読谷村第2次都市計画マスタープラン」に続く、本村の将来あるべき姿を目指すため、道路などのインフラ整備の方針を含めた都市計画の総合的な計画を定めたものであります。

これまでの本村の都市計画は、自然と人とを結ぶ地域社会的な意識、フンシー（風水）を採り入れた将来像『飛鳳花蔓黄金環』を掲げ、取り組んでまいりました。長い間の懸念事項であった読谷補助飛行場返還跡地の土地利用におきましては、村道中央残波線の開通並びに読谷中部地区農地整備事業が完了し、今後は村民センター地区内にある各施設の整備等を推進してまいります。また、瀬名波通信施設跡地、楚辺通信所跡地等の土地利用におきましても、先に返還された嘉手納弾薬庫及びトリイ通信施設の一部地区と併せて土地区画整理事業、都市計画提案制度を活用した地区計画、土地改良事業計画など、村民の皆さまと協働のむらづくりを進めているところであります。

これからのむらづくりは持続可能な社会を目指した「SDGs」へ向けた取り組みが必要となります。インフラ整備などの社会基盤整備だけではなく、今後予測される高齢化社会等への対応や都市施設の維持管理、環境保全、防災など、社会変化に応じた都市計画が重要となり、「整備するむらづくり」から「持続可能なむらづくり」への転換が求められております。これまで築きあげてきた良好な都市環境や農村環境を維持しながら、本村が誇る自然や環境、歴史文化を保全・継承し、将来にわたり飛翔し続ける鳳を目指して、今後も新たなむらづくりに取り組んでまいります。

結びに、計画策定にあたりましてご意見いただきました村民の皆さま、ご指導いただいた関係者の皆さま、ならびにご審議、ご提言いただきました都市計画審議会の委員の皆さまに厚く御礼を申し上げます。



令和3年11月

石嶺傳實

目次

第1部	はじめに	1
第1章	都市計画マスタープランとは	1
第2章	都市計画マスタープランの概要	3
第2部	むらづくりの現況と課題	7
第1章	読谷村の現況	7
第2章	上位関連計画	35
第3章	村民の意向	43
第4章	読谷村におけるむらづくりの課題	47
第3部	基本構想	50
第1章	将来像	49
第2章	基本目標	52
第3章	将来都市構造	53
第4章	分野別構想	56
第4部	地域別構想	85
第1章	地域別構想の考え方	85
第2章	地域別構想	88
第5部	計画の実現に向けて	119
第1章	協働のむらづくりの推進	119
第2章	実現化に向けた取り組み	121

